

「よい」と言うための 言いまわし・バリエーション

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------|
| ・それ、いいね！ | ・どうすればそうできるの!? | ・完璧！ |
| ・よくやっているね！ | ・そのとおり！ | ・真似してみたいなあ！ |
| ・すばらしい！ | ・その調子！ | ・みんなのお手本だね！ |
| ・よくなったね！ | ・すごい！ | ・そう、そのやり方だよ！ |
| ・うまくいってるね！ | ・優秀！ | ・うまく進んでいるね！ |
| ・その調子で頑張って！ | ・そのまま続けてね！ | ・よくできたね！ |
| ・全くそのとおり！ | ・よくやったね！ | ・わっ、すばらしい！ |
| ・うんそう、それ！ | ・それはいい考えだ！ | ・ほんとうにすてき！ |
| ・すてき！ | ・いいよ！ | ・前よりずっといいよ！ |
| ・すごい！ | ・ほら思い出した！ | ・ずっとよくなったね！ |
| ・最高！ | ・ほら、見てます！ | ・見事にやっているね！ |
| ・うーん、すごい！ | ・そうやるんです！ | ・続いて頑張って、もう一息！ |
| ・おめでとう！ | ・これは気に入ったよ！ | ・本当にうまくなっているよ！ |
| ・ワーッ！ | ・決めたね！ | ・見せ場をつくるなあ！ |
| ・とてもよくやっているね！ | ・グッド！ | ・とてもよくできました！ |
| ・第一級のできばえだね！ | ・あと1回やればできますよ！ | ・パーフェクト！ |
| ・あなたならやれると分かっていたよ！ | ・ずっと練習してきたに違いない！ | ・ビューティフル！ |
| ・ずいぶんよく分かってきているね！ | ・今日は本当に頑張っているね！ | |
| ・それでいいんだよ！よくやったね！ | ・あなたはもう分かったと思いますよ！ | |

※まだまだあります。考えてみましょう！

テーマ

あなたなら、どうしますか？
— “叱り”の極意 PART 1 —

II-3

テーマ

あなたなら、どう言いますか？
— “叱り”の極意 PART 2 —

II-4

資料
1

叱りのワンポイント



※怒鳴らない。感情的にならない。

※兄弟や他人と比較しないでタイミングよく叱る。

※指示は短くプラス表現（肯定文）で。
否定語はできるだけ使わない。

例) 「廊下を走ってはいけません。」 → 「廊下は歩きましょう。」

「～をしてはいけません。」 → 「～をしましょう。」

※「子どもの行動」に対する「親の気持ちやまわりの気持ち」を伝える。



YOUメッセージ ではなく I (アイ・愛) メッセージで!

「あなたは…!!」

「わたしは…」



Aさんの言い方

- ① 「早く勉強しなさい！ …もう何時だと思っているの!？」
- ② 「何だ、このテストは！怠けている証拠だろ。」
- ③ 「何てことしてくれたの。そんな子に育てた覚えはありません。もう情けないったら…」
- ④ 「生意気言うんじゃない。親に養われているくせに…」
- ⑤ 「いつから親に向かってそんな口をきくようになったの!」
- ⑥ 「何べん言わせれば気が済むんだ!」
- ⑦ 「何もかもあなたのためにしてあげているのに、どうしてお母さんの気持ちかわからないの!」
- ⑧ 「だから言っただろ！ おまえには無理だって…」
- ⑨ 「他人に迷惑をかけない人間になりなさいね。」



Bさんの言い方

- ① 「何時から勉強するの？」又は、「今日はいつもより遅いようね。」
- ② 「そうか、◎◎点だったのか。よく勉強してたのにな。ちょっと惜しかったな。」
「そうか、◎◎点だったのか。残念だったな。どこが(何が)できなかったんだろうな。」
- ③ 「もう二度とこんなことしないわね。お母さん信じてるわ。」
- ④ 「きみはそういう考えなんだな。でも、お父さんもお母さんも反対だよ。だからいけません。」
- ⑤ 「あら、あなたもいつの間にか、ずいぶん大人になったのね。」
- ⑥ 「一度で直すのは難しいかもしれないね。でも、いけないことだから気をつけなさい。」
- ⑦ 「大事なときは、がんばらないとね。お母さんもがんばるからね。」
- ⑧ 「あ～あ、やっちゃったな…、いっしょに直そうか。」
- ⑨ 「大きくなったら、みんなに喜んでもらえるような人間になってね。」

